



松村美沙枝 赤こんリポーター

北之庄菜がきっかけ
地産野菜の
魅力を発信！

おうみ野菜 labo の藤原かおりさんは、お子さんが小学校の授業で学んだ「北之庄菜」に感動したことがきっかけで、地産野菜の魅力にどんどのめり込み、野菜ソムリエの資格をとられたそうです。

今では野菜の魅力を伝えるために幼児向けのクッキング教室や保護者向けのアスリートキッズ食育講座、スポーツチームへの食事指導なども行っています。「食育することと生きることは密接につながっている。少しでも多くの人が地産野菜の美味しさに気付き、食べることでより幸せな生活を手に入れて欲しい」藤原さんの挑戦はまだまだ続くようです。

向坂奈穂美 赤こんリポーター



新鮮な野菜たちが暮らしを豊かに

6月20日、市役所駐車場で開催された「軽トラ市」を訪れました。毎月第3土曜日に開かれている人気の朝市です。当日はあいにくの雨でしたが、軽トラックの荷台にはキュウリやトマト、玉ねぎ、お米など、地元で採れた新鮮な農産物がずらり。「どれにしようかな」と選ぶ時間も楽しみのひとつです。

代表者にお話を伺うと、「開店前から行列ができる日もあります」と話していました。雨の中でも、生産者と直接会話をしながら買い物ができ、地域とのつながりを感じられました。軽トラ市は日々の暮らしを豊かにし、食の大切さやありがたみを実感できる機会です。

山田恵美 赤こんリポーター

安土を舞台に 演者の熱伝わる公演
「走れメロス～安土に向かって～」

6月14日、本市や東近江市、竜王町を中心に活動をしている音楽劇団 Ryu 陣による音楽劇「走れメロス～安土に向かって～」が、浄厳院本堂（安土町慈恩寺）で開催されました。太宰治の傑作を音楽劇に仕立て、時は戦国時代、舞台を安土に移したコメディ要素満載の作品に、笑いが溢れ、緊張感が走り、観客を魅了しました。寺院内に設置されたステージは観客との距離が近く、歌声が間近に響き、演者の汗が見えるほどの臨場感溢れる舞台でした。

三上香帆 赤こんリポーター

健康長寿の観音様と
琵琶湖を望む
長命寺を訪ねて

長命寺は西国三十三所霊場の第三十一番札所として、「健康長寿の観音様」で有名なお寺です。参拝までには長い階段を登りますが、頑張って登りきった先で待っていたのは、琵琶湖を一望できる最高の景色でした。訪れた6月下旬は、境内の鮮やかな新緑がとっても綺麗で、爽やかな風に吹かれながら心身をリフレッシュすることができました。



境内には歴史ある本堂や重要文化財の鐘楼が大切に残されており、静かな空気に包まれていました。歴史の重みと絶景、そして美しい新緑を楽しめる、まさに地元の宝物のような場所だと感じました。ぜひまた季節を変えて訪れてみたいと思います。



7月14日

オリジナル湖魚イラストで「沖島」をイメージ
ドラム缶テーブル・チェア

沖島小学校で、児童たちがオリジナルデザインを施した「ドラム缶テーブル・チェア」の仕上げ作業が行われました。これは今年創業170周年の節目を迎えた(株)尾賀亀が、沖島の離島振興と観光支援を目的に、同校や沖島漁業協同組合と共同で企画したプロジェクトです。

児童たちは、事前に授業で一生懸命に描いたびわ湖の個性豊かな「湖魚」のイラストステッカーを、ドラム缶を再利用して作られたテーブル・チェアに真剣な面持ちで貼り付けました。完成した世界に一つだけのカラフルなチェアは、秋にリニューアルされる沖島漁業協同組合の施設に設置されます。島を訪れる多くの観光客や地域の人に、これから末永く愛用されます。

7月12日

第5回チャレンジジュニア
トライアスロン in 近江八幡

健康ふれあい公園を会場にチャレンジジュニアトライアスロンが開催されました。この大会は、昨年開催された「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」のレガシーを次世代に継承し、子どもたちの健康的な心身の育成と地域スポーツの振興を目的としています。

当日は84人の小中学生が参加し、スイム、バイク、ランの3種目に挑戦。プールを力強く泳ぎ切った子どもたちは、新しくなったバイクコースへと勢いよく飛び出し、最後のランでは周囲の声援を背に受けながら、笑顔でゴールテープを切りました。プロ選手からの指導やお楽しみのじゃんけん大会なども行われ、会場は終始歓声と熱気に包まれていました。

6月23日

子どもたちの健やかな成長を願って
絵本を寄贈

国際ソロブチミスト近江八幡が、市内の幼稚園、認定こども園、子どもセンターなど45施設に絵本91冊を寄贈しました。この取り組みは19年目を迎え、寄贈いただいた絵本の累計は1,329冊となります。

贈呈式で、中村美恵子会長は「2007年に寄贈を始め、絵本に親しんだ子どもたちは今では親になっています。絵本の素晴らしさや、そこから感じたことを子どもに伝えていくことが大切だと思う。これからも活動が続けていきたい」と話しました。徳永市長は「絵本は言語能力や創造性を育むだけでなく、親子の愛情を深めることにもつながる」と感謝を述べました。また、今回初めての試みで、寄贈した絵本の読み聞かせが八幡幼稚園で行われ、子どもたちは熱心に耳を傾け、絵本の世界に親しみました。

7月11日

楽しみながら環境保全
第13回外来魚さかなつり大会

安土学区まちづくり協議会の主催で、第13回外来魚さかなつり大会が開催されました。この大会は、外来魚の駆除を通じて在来魚を保護し、豊かな自然環境を守ることを目的に行われています。

当日は、22組約60人が参加。家族連れなど多くの参加者が釣り糸を垂らし、ブルーギルやブラックバスなどの外来魚を釣り上げていました。参加した中学校2年生の生徒は「魚が意外と小さかったけど釣ることができて楽しかった。また、友達とも魚釣りをしてみたい」と話しており、楽しみながら身近な自然や生態系について考える1日となりました。

※この大会は、参加者の安全に十分配慮して実施しています。